

さざなみ No.45 (2015.7)

著者	滋賀医科大学附属図書館
発行年	2015-07-21
URL	http://hdl.handle.net/10422/10571

外国雑誌/電子ジャーナルをめぐる現在の状況を簡単に報告します。

【2016年外国雑誌/電子ジャーナル購読誌選定スケジュール】

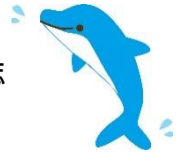
来年(2016年1～12月)購読する外国雑誌/電子ジャーナルの選定スケジュール(予定)は次のとおりです。

6月15日 附属図書館備付外国雑誌検討WG
2016年の選定方針を確認しました。選定スケジュール・選定方法の見直しを行いました。



7月1日～7月31日 附属図書館備付外国雑誌講座推薦調査
各講座等に、図書館で備え付けを希望する外国雑誌/電子ジャーナルを照会します。

8月上旬～中旬 講座等備付雑誌購読調査
各講座等の予算で購読する雑誌/電子ジャーナルを調査します(雑誌/電子ジャーナルの契約事務は、図書館で一括しておこないます)。



9月～10月 雑誌価格調査等
雑誌/電子ジャーナルの価格を調査し、図書館備付として購読できそうな外国雑誌/電子ジャーナルの範囲を決めます。



10月中旬～下旬 選定外分の講座購読意思調査
図書館の予算枠で購読できそうにない雑誌/電子ジャーナルについて、講座等で購読する意思があるかどうかを確認します。

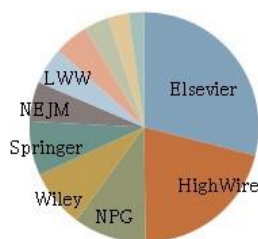
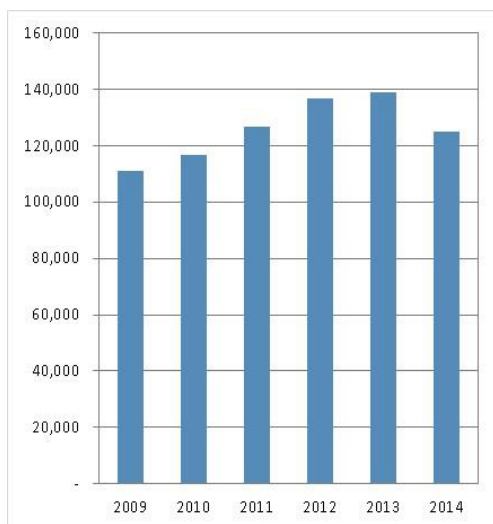


10月下旬以降 外国雑誌/電子ジャーナル契約手続き
図書館で外国雑誌/電子ジャーナルの契約手続きをおこないます。



11月以降 2016年購読予定外国雑誌/電子ジャーナルの概要は随時、教授会等で報告します。

【利用統計】



Elsevier	29.0%
HighWire (※)	20.8%
NPG	10.2%
Wiley	8.2%
Springer	7.6%
NEJM	5.6%
LWW	5.2%

利用統計から、電子ジャーナルはとてよく利用されていること、2014年は主な出版社のものだけで125,000件以上の論文が利用されていることがわかります。

出版社別にみると、Elsevier社から発行されている雑誌論文の利用が全体の3割近くを占めています。

※全ての電子ジャーナルの利用統計が入手できていないわけではではありません。比較的大きな出版社の利用統計を分析した結果です。

※ HighWireは出版社ではなく、学会誌等を提供するプラットフォームです。

【論文単価】

主要な出版社とタイトルのみですが、2014年に本学が外国雑誌/電子ジャーナルを購読するために支払った経費を論文の利用数で割り、1論文あたりの単価を算出すると 425円になりました。

電子ジャーナルは、Pay-per-view といって、個人のカード決済で論文を購読することもできます。出版社によって、また、論文の種類によって異なりますが、1論文あたり2,500~3,500円で販売されていることが多いようです。

滋賀医科大学ではかなり経済的に論文を購読できているといえます。

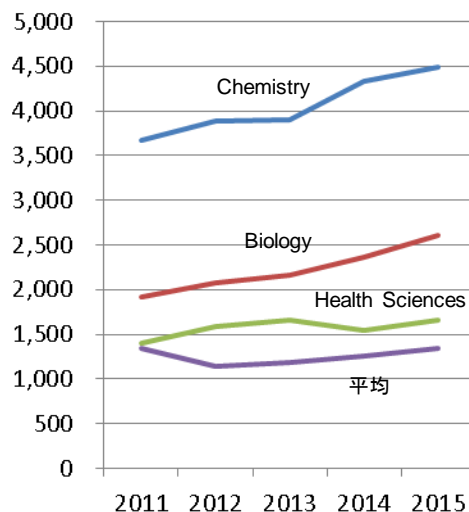
論文単価(2014年)	425円
Pay-per-view	2,500~3,500円

【原価の上昇】

大変便利な電子ジャーナルですが、その購読に要する経費は毎年上昇しています。米国で販売されている電子ジャーナルの平均原価は、2013-14年、2014-15年ともに全分野平均で6%ずつ上昇しています。(※Library Journal 誌 Periodicals Price Survey 2015の Average Price for Online Journals in the ISI Indexesによる)

また、為替レートの円安傾向や、2015年10月より海外からの電子配信事業に消費税が課税されることが2016年電子ジャーナル契約に大きく影響する見込みです。

単位:USドル



【Elsevier社 回数券方式の継続について】

電子ジャーナルの価格上昇や円安の影響を受けたことにより、エルゼビア社が発行する電子ジャーナル(ScienceDirect)のパッケージ契約を中止し、2014年4月より論文単位で購読する「回数券方式」(トランザクション)を導入しています。

Lancet などよく使われるもの(42タイトル)は、これまでと同じように使えますが、その他(約2,000誌)は1論文を見るごとに課金される「回数券方式」(トランザクション)での利用となっています。

回数券方式の利用方法については、附属図書館ホームページをご覧ください。

【電子ジャーナル選定方法】

外国雑誌/電子ジャーナルは、講座等からの推薦に基づいて選定しています。

各講座には一律100ポイントの投票権があります。各講座は100ポイントの持ち点を雑誌の必要度に応じて重みづけをして投票します。図書館では、その結果を集計し、各講座の教員数に応じて補正した値をもとに、雑誌毎の獲得ポイント数を算出し、そのポイント数の高いものから順に、予算の範囲内で購読誌を選定していきます。

なお、今回は各講座からの推薦誌を必ず1誌以上、選定するよう調整を行います。

また、出版社によっては個別に雑誌を講読するより、「パッケージ契約」をしたほうが有利な場合があり、必要経費と利用のバランスを考慮し「パッケージ契約」を選択する場合があります。

その他、利用実績と比較して推薦ポイントが低い雑誌があり、選定されないケースがありました。そのような雑誌について、経費と利用統計を参考に費用対効果が高いと判断でき、共通で利用されているとみなされる雑誌を図書館長が予算の範囲内で追加選定します。

【パッケージ契約】

「パッケージ契約」とは、これまで支払ってきた学術雑誌の購読料金に一定額の追加料金を支払うことで、出版社が発行している電子ジャーナルの一部、あるいは、大部分を利用できるようにする契約のことです。

・パッケージ導入経過

	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
Am. Chem. Soc.	○	○	○	○	○	○	○
Elsevier	○	○	○	○	○	×	×
LWW	○	○	○	○	○	○	○
Oxford UP	○	○	○	○	○	○	○
Rockefeller UP	○	○	×	×	×	×	×
Springer	○	○	○	○	○	○	○
Wiley-Blackwell	○	○	○	×	×	×	×
Karger	—	—	—	—	—	—	○